





絶滅寸前の生きている化石

カブトガニ繁殖地



指定区分	国指定天然記念物
読みかた	かぶとがにはんしょくち
所在地	笠岡市神島水道
指定年月日	昭和46年6月16日
解説	カブトガニは古生代(カンブリア紀)に栄えた三葉虫を祖先とする節足動物で、約2億年前からほとんど形状が変わっていない。日本ではかつては瀬戸内海と九州西北海岸に広く生息していたが、環境破壊により生息数・生息地域ともに激減している。笠岡市は国内の代表的な生息地・繁殖地であったが、その笠岡市でも笠岡湾干拓の影響もあって絶滅寸前にまで追い込まれている。
アクセス方法	【カブトガニ博物館】JR笠岡駅から井笠バス「神島循環線」乗車「カブトガニ博物館前」下車
公開状況	【カブトガニ博物館】開館:9~17時 / 休館:月曜日(休日の場合はその翌日)・祝日の翌日・年末年始(※春休み・夏休み・GW期間等は無休) / 有料 問:0865-67-2477
設備	カブトガニ博物館 トイレ  駐車場  障害者用トイレ  障害者用駐車場 
備考	

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定天然記念物
ぶんかざいめい (文化財名)	カプトガニ繁殖地
よみかた	かぶとがにはんしょくち
しょざいち (所在地)	笠岡市神島水道
していつひ (指定した日)	昭和46年6月16日
せつめい	カプトガニは恐竜(きょうりゅう)がいたころよりはるか前から生息(せいそく)していると言われています。カニやエビとおなじ節足動物(せつそくどうぶつ)のなかまです。およそ2億(おく)年前からほとんど体のかたちが変(か)わっていないため「生きている化石(かせき)」といわれています。日本でもむかしは瀬戸内海(せとないかい)や九州(きゅうしゅう)などに広く生息していましたが、環境破壊(かんきょうはかい)のため絶滅寸前(ぜつめつすんぜん)となっています。